

賀 茂 地 区

1 研修会 年間4回実施（他に各支部ごと4～6回実施）

【テーマ】 感じようこころと体，めざそう健やかな生活

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	4月 4支部の研修計画立案 東賀 チーム学校に向けた養護教諭の専門性を生かした取り組み 下田 子どもたちの安全・安心な生活をめざした学校保健活動 南伊豆 保健室から発信する安心安全な学校づくり 西豆 危機管理能力の育成・向上をめざした学校保健活動	賀茂教育研究会	支部ごとテーマを設定
2	6月 代表者会報告，執務上の問題点について	地区学校保健会	
3	11月 講習会「成長曲線と成長障害について」※ 代表者会報告，執務上の問題点について	地区学校保健会	※かわづクリニック 院長 鈴木和重氏
4	3月 4支部の研修報告，活動の反省，代表者会報告	賀茂教育研究会	

2 昨年度の研修の紹介

下田眼科クリニックの鈴木志保氏を講師に迎え「色覚異常・けが・疾病について」をテーマに研修を行った。眼科医の専門的な立場から講演をいただき，日頃の執務の中で受診の判断に迷うことや，疑問に感じることを相談できる貴重な研修となった。

3 地区での問題点・課題

4支部に分かれ研修を進めているが，広範囲のため地区としての研修を深めることが難しい面もある。少ない研修の中で，情報交換を積極的に行い，地区として質の高い研修を目指していきたい。

田 方 地 区

1 研修会 年間7回実施

【テーマ】 自分で判断し，人と関わりながら 適切に行動できる子を目指して

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	5月 年間計画立案	田方地区教育研究会	
2	6月 年間の方向性決定・グループ研修	田方地区教育研究会	
3	7月 グループ研修 講演会※	田方地区教育研究会	※静岡大学 教授 鎌塚優子氏
4～6	10月・11月・1月 グループ研修	田方地区教育研究会	
7	3月 研修報告・反省・次年度への課題	田方地区教育研究会	

2 昨年度の研修の紹介

「田方の子どもの姿をみつめて～保健室から見た健康課題を探る～」をテーマに，地域別や年代別などに分かれ，KJ法を取り入れて話し合い，健康課題を明確にすることができた。課題解決に向けての方向性を探るため，静岡大学教授の鎌塚優子氏を講師に迎え，「子どもたちを取り巻く現代的課題とこれから求められる養護教諭の専門性」について講演をいただき研修を深めた。

3 地区での問題点・課題

限られた研修回数であるが，情報交換・班別研修・講演会や実技研修などを取り入れ，時間を有効に使えるよう工夫している。函南町・伊豆の国市・伊豆市の二市一町と地区の研修や活動があり，班別研修も地区ごとに分かれることが多く，地区全体の組織力や資質向上を図る必要がある。

東 豆 地 区

1 研修会 年間3回（各市ごとの研修は更に月1回程度開催）

【テーマ】 熱海 豊かな心と健やかな体を育む 性といのちの教育
伊東 心も体も生き生きと生活できる子どもの育成

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	6月 代表者会報告 熱海・伊東研修計画等情報交換 熱海・伊東地区別研修	東豆教育研究会	
2	11月 代表者会報告 講話「学習指導要領の改正と 養護教諭の職務について」※	東豆教育研究会	※健康体育課食育班 教育主幹 松本美千代氏
3	3月 代表者会報告 熱海・伊東研修報告 熱海・伊東地区別研修	東豆教育研究会	

2 昨年度の研修の紹介

三島市のクボタ小児科院長の窪田和興氏を講師に迎え、「成長曲線を使用した学校検診」をテーマに研修会を行った。学校検診における成長曲線の活用についての変更点や注意点、受診のポイントを押さえるとともに、成長障害の症例や治療についても、知識を深めることができた。

3 地区での問題点・課題

2地区に分かれ、それぞれのテーマで研修をしている。統一テーマで研修を行うのは、年1回だが、各市で実践している研修の情報交換を行い、養護教諭として力量を高め合う機会としたい。

三 島 地 区

1 研修会 年間8回実施

【テーマ】 めざす子ども像に近づけるための児童生徒委員会活動

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	4月 本年度の研修計画，方向性について	三島市教育委員会	
2	5月 全体研修	三島市学校保健研修会	
3	6月 全体研修	三島市教育委員会	
4	8月 全体研修	三島市学校保健研修会	※一般財団法人
5	9月 全体研修	三島市教育委員会	日本ペップトーク普及協会
6	10月 講話「ペップトークについて」※	三島市学校保健研修会	理事・認定講師 副島理子氏
7	12月 全体研修	三島市教育委員会	
8	2月 研修のまとめ	三島市教育委員会	

2 昨年度の研修の紹介

平成29年度の研修は、32年度の県学校保健研究大会（三島地区大会）実践発表に向けて、研修テーマを「子どもたちの現状から実態を探る」とし、現状の健康課題を確認し、それを踏まえた上で「目指す子ども像」は何だろうか、そして養護教諭はどのように目の前の子どもたちと向き合っていくのだろうか、ということについて、丁寧に検討を重ねた。その具現化のために「児童生徒委員会活動」を実践の切り口として研究していくことが決定し、次年度へ繋がる研修となった。

3 地区での問題点・課題

限られた時間を有効に使い、情報機器を活用して情報交換を行うことで研修を深め、専門職としてより質の高い執務の向上や地区全体での研修の充実を目指していきたい。

駿 東 地 区

1 研修会 年間6回実施

【テーマ】 支部ごとにテーマを決めて実施

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	6月 養護教諭研修会 (代表者研修報告) 中体連救護についての確認	地区教育協会	
2	7月 保健主事・養護教諭合同研修会 (講演) 「触発・追究型の健康教育の実際」※ ¹	地区教育協会	※ ¹ 岐阜大学地域科学部 教授 近藤真庸氏
3	8月 学校保健研修会 「健康診断を主体的に受けることができる 子どもの育成をめざして」※ ²	地区教育協会	※ ² 実践発表2支部 (裾野市)
4	11月 養護教諭研修会 (代表者研修報告・講演)	地区教育協会	
5	11月 地区学校保健研究大会	地区学校保健会	
6	3月 養護教諭研修会 (代表者研修報告)	地区教育協会	

2 昨年度の研修の紹介

養護教諭の資質向上を目指し、任意団体エンジェルアイズ主宰の遠藤美季氏、静岡大学教授の鎌塚優子氏に講演をしていただいた。専門分野の情報と知識を学び、大変有意義な研修となった。

3 地区での問題点・課題

2市3町からなる駿東地区では、4つの支部に分かれ、それぞれテーマを設定し研修を行っている。地区研修は限られた回数であるが、班別研修等を充実させ、各支部間の交流を深めていきたい。

沼 津 地 区

1 研修会 年間12回実施

【テーマ】 マネジメント力の向上をめざして ～発信・連携・協働～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	4月 研修計画作成		
2	5月 健康教育研修会 講演会※ ¹		
3	6月 三部合同研修会 (学校保健・学校給食・保健主事)		※ ¹ 「学校における心疾患児の管理と課題」 日本大学医学部小児科 准教授 鮎澤 衛氏
4	6月 グループ別研修	沼津教育振興会	
5	7・8月 グループ別研修	沼津市学校保健会	
6	8月 全体研修 県学校保健研究大会実践発表経過報告		
7	8月 夏季講演会※ ²		※ ² 「セルフケアの手法」 聖隷沼津健康診断センター 保健師 成田彩央里氏
8	10月 グループ別研修		
9	12月 全体研修 日常執務の反省		
10	1月 グループ別研修		
11	2月 研修報告会		
12	3月 1年間の反省		

2 昨年度の研修の紹介

マネジメント力の向上をめざし、平成29年度より2年計画で研修をすすめている。7つのグループでは、発信・連携・協働をキーワードに「日常執務」「危機管理」「調査票の有効活用」「事例検討」等を切り口に研修を深めることができた。

3 地区での問題点・課題

限られた研修機会を有効に使い、養護教諭としての資質と力量を高め合うと共に、若手育成や会員相互の連携を図り、地区の組織力向上や研修の充実を目指していきたい。

富士地区

1 研修会 年間9回実施

【テーマ】 生涯にわたり心豊かで健やかな体を育む健康教育

～子供たちの安心・安全を支えるために、組織の中で果たす養護教諭の役割～

No.	研修内容	主催者	備考(講師・運営)
1	5月 全体研修(年間計画)	富士市教育研究推進会	* ¹ 富士市保健部
2	6月 班別研修・講話* ¹ 「月経困難症について」	富士市教育研究推進会	地域保健課 稲葉清美氏
3	7月 班別研修・講義, 実技* ² 「学校における感染症予防講座」	富士市学校保健会	* ² 保健主事との合同研修会 富士保健所 坂本久子氏
4	8月 講演会* ³ 「変革する社会とそれに伴う今後養護教諭が身に着けたい力とは」	富士市教育研究推進会	富士市立中央病院 感染対策専従看護師 本間功武氏
5	11月 市内一斉授業研(健康教育部授業研究)	富士市教育研究推進会	感染制御チーム
6	12月 班別研修	富士市教育研究推進会	* ³ 静岡大学
7	1月 班別研修・講演会* ⁴	富士市学校保健会	教授 鎌塚優子氏
8	2月 全体研修(研修のまとめ)	富士市教育研究推進会	* ⁴ 富士市歯科医師会
9	3月 全体研修(次年度への指針)	富士市学校保健会	

2 昨年度の研修の紹介

1月の研修会では、あいこクリニックの中塚哲三氏をお招きし「メンタルヘルスの問題を持つ児童生徒への対応」について、事例を通してデイケアや治療現場の紹介も兼ねて講演していただき、市内の子どもたちの心の問題について考えることができる研修となった。

3 地区での問題点・課題

限られた研修回数ではあるが、班別研修や、講演会、保健主事との合同研修会などの機会を有効に活用することで、現代の健康課題に対応できるよう情報交換や共通理解を図っている。

富士宮地区

1 研修会 年間10回実施

【テーマ】 生きる力を育む健康教育 ～学校運営を意識した学校保健活動を目指して～

No.	研修内容	主催者	備考(講師・運営)
1	4月 学校医および養護教諭合同研修会	富士宮市教育委員会	* ¹ 健康教育研修会
2	6月 市内全体研修会	富士宮市教育委員会	(課題別研修)
3・4	7月 健康教育研修会* ¹ * ²	富士宮市教育委員会	・防災班
5	8月 健康教育研修会* ¹ * ²	富士宮市教育委員会	・救急処置班
6	10月 健康教育研修会* ¹	富士宮市教育委員会	・感染症とアレルギー班
7	11月 市内全体研修会	富士宮市教育委員会	・心と性に関する指導班
8	12月 学校医及び養護教諭合同研修会	富士宮市教育委員会	
9	1月 健康教育研修会* ¹	富士宮市教育委員会	* ² 健康増進課・高等学校養護教諭との合同研修
10	2月 学校歯科医及び養護教諭合同研修会 及び健康教育研修会* ¹	富士宮市教育委員会	

2 昨年度の研修の紹介

「学校運営を意識した学校保健」を目指し、課題別研修の総括と、「養護教諭の参画による学校組織の活性化」「資質能力向上」「連携」を柱として、学校を動かすカリキュラム・マネジメントやPDCAサイクル、ランドデザインの具現化につながる実践発表をもとに自校の実践を考える研修を行った。

3 地区での問題点・課題

学校運営に参画する上での執務のバランスを客観視し、校内教職員の理解と協力を得て連携して取り組むことと、市内全体の研修で、健康教育以外の部会との連携も視野に入れて研修していきたい。

静岡 地 区

1 研修会 年間3回実施 (他に支部ごと8～10回実施)

【テーマ】 生きる力と豊かな心を育む健康教育をめざして

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	8月 第1回市養護教諭研修会* ¹ 「頭部外傷事故発生時の対応について」	静岡市教育委員会 静岡市養護教諭研究会	* ¹ 園田学園女子大学人間健康学部総合健康学科
2	10月 第2回市養護教諭研修会 「貧困家庭の現状と課題」* ² 「性的マイノリティの正しい理解」* ³	静岡市教育委員会	特任教授 中島敦子氏 * ² 静岡市スクールソーシャルワーカー 川口正義氏
3	3月 第3回市養護教諭研修会 講義と支部研修報告	静岡市教育委員会 静岡市養護教諭研究会	* ³ 静岡大学教職センター 准教授 松尾由希子氏
支部	支部ごとに、支部の研修テーマに沿った研修を計画的に行う。	静岡市校長会 静岡市養護教諭研究会	支部ごとに企画、運営し、実践集録にまとめる。

2 昨年度の研修の紹介

8月に静岡県立大学特任教授若林敬二氏に「がんに関する基礎知識とがん教育の大切さ」、スポーツ庁政策課教科調査官森良一氏に「保健教育の在り方～がん教育を含む～」、10月に金沢大学人間社会研究域学校教育系河田史宝氏に「これからの養護教諭に求められる力」と題して講演をいただいた。

3 地区での問題点・課題

今年度校務支援システムが導入された。今後、デジタル化による研修を積むことで、校務支援システムによる執務の効率化、校務処理の軽減を図っていきたい。

志 太 地 区

1 研修会 年間4回実施

【テーマ】 生涯にわたって心身共に健康で、活力に充ちた児童生徒の育成

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	6月 志太地区学校保健会研修会 I* ¹ 志太地区養護教諭研究会総会①	志太地区学校保健会 志太地区養護教諭研究会	* ¹ 永野・山下法律事務所 弁護士 山下敏雄氏
2	7月 中学校・高校養護教諭合同研修会	志太地区養護教諭研究会	「貧困の中の子どもと性」
3	8月 志太教育研究集会「学校保健部」 研修会	志太地区教育協議会	
4	12月 志太地区学校保健会研修会 II* ² 志太地区養護教諭研究会研修会②	志太地区学校保健会 志太地区養護教諭研究会	* ² 執務研修班別討議 テーマ 「学校保健委員会」 班別で各校の実践を紹介し合い討議する

2 昨年度の研修の紹介

志太地区において校務支援システムが導入され、執務の効率化、校務処理の負担軽減を図るソフトが効果的に活用されている。また、昨年度は各校の「熱中症対応や対策」についての実践例をまとめ、執務資料として共有できた。

3 地区での問題点・課題

3市で構成されている地区としての研修は時間が限られているが、今後も更に連携を深め、養護教諭の資質を高めていきたい。

榛 原 地 区

1 研修会 年間4回実施

【テーマ】 しなやかに人とかわりながら前向きに生きていこうとする子
～保健室からのアプローチ～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	6月 総会及び第1回全体研修会 研修計画, 執務研修, グループ研修		
2	8月 第2回全体研修会* ¹ 講話, 執務研修, グループ研修	地区校長会 地区養護教諭研究会	* ¹ 榛原総合病院 看護師 吉田佳代子氏
3	11月 第3回全体研修会* ² 講話, グループ研修		* ² 静岡赤十字病院 救急科部長 中田託郎氏
4	2月 第4回全体研修会 執務研修, グループ研修		

2 昨年度の研修の紹介

ハートマッスルトレーニングジム代表取締役の桑原規歌氏に「養護教諭自身の自己肯定感やレジリエンスを高めるために」についての講話と演習をしていただいた。養護教諭が自分の思考パターンを知り、「専門職としてのコミュニケーション力」について理解を深めることができた。

3 地区の問題点・課題

経験年数が浅い養護教諭が増えているため、組織や活動内容を見直し、改善していくことで、活動の充実を図っている。限られた時間の中で、地区全体の共通理解と連携を図り、実践を深めていきたい。

小 笠 地 区

1 研修会 年間3回実施

【テーマ】 (1) 健康教育推進者としての力量を高め、専門性、独自性を活かした資質の向上に努める。
(2) 小笠地区養護教諭研究会の組織の活性化を図る。

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	6月 第1回全体研修会* ¹ 研修計画・顧問校長講話	小笠地区養護教諭研究会	* ¹ 小笠地区養護教諭研究会 顧問校長 太田友江氏
2	8月 第2回全体研修会* ² 「育成と連携」 ～養護教諭の資質向上を目指す～	小笠地区養護教諭研究会	* ² 子どものこころの診療所 臨床心理士 淵野俊二氏 臨床心理士 重野 桂氏 掛川東病院
3	11月 学校保健研究部一斉研究報告会 「自分の体と主体的に向き合う子どもの育成」 ～がん教育を通して～* ³	小笠教育研究協会 学校保健研究部	理学療法士 名倉達也氏 * ³ 磐田市立総合病院 医師 中澤秀雄氏

2 昨年度の研修の紹介

愛知みずほ大学渡辺千津子氏「保健室レイアウトの実際」、八王子少年鑑別所長紀恵理子氏「子どもの心に寄り添う」、静岡大学教授鎌塚優子氏「子どもの健康問題解決に向けた実践的能力を高める」三氏の講話を実施した。養護教諭の資質を高めるための研修となった。

3 地区での問題点・課題

構成年齢の変化に伴い、若手養護教諭のさらなる活躍の必要性が増してきた。研修の機会や日々のつながりを大切に、経験豊かな養護教諭の幅広い知識や技能を若手へ着実に伝え、養護教諭としての育ちと組織力の向上を目指したい。

磐 周 地 区

1 年間4回実施（他に研修5回実施）

【テーマ】 ころごしをもって、たくましく生きる力を育てる健康教育
～「縦の接続」「横の連携」による取組～

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	6月 養護教諭研修会・磐周学校保健会総会 研修計画，研究要綱の作成方法 等 講演「ポスター発表の伝わる資料の作り方」※	磐周学校保健会	※千葉大学大学院 理学研究院 日本学術振興会特別研究員 片山なつ氏
2	8月 養護教諭研修会 校区研修 ポスター作成	磐周学校保健会	
3	11月 養護教諭研修会 プレポスターセッション	磐周学校保健会	
4	3月 養護教諭研修会（実技研修） *学校保健部研修会 年間5回（校区研修等）	磐周学校保健会 磐周教育研究会	

2 昨年度の研修の紹介

評価方法の研修（P D C A サイクルによる進め方，行動目標の設定方法）を行い，そこでの学びを基に，中学校区において「目指す子どもの姿」から到達目標を設定し，実践活動に取り組んだ。また，実技研修では磐田市立総合病院救急科の植野正英医師より「学校現場におけるけがの対応について」の講話を聞いたり，先輩養護教諭から事例をもとにした危機管理について学んだりした。

3 地区での問題点・課題

児童生徒の行動変容の様子や実践活動の成果を，どのように評価するのかといった評価方法及び評価指標の設定には課題が多いため，さらに研修を深めていきたい。

湖 西 地 区

1 研修会 年間9回実施

【テーマ】 これからの学校保健のあり方

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考（講師・運営）
1	5月 養護教諭研修会（定期健康診断の集計）	湖西市教育会	※ ¹ 市立湖西病院
2	6月 講演会「成長曲線について」※ ¹	湖西市学校保健会	小児科部長 夏目博宗氏
3	養護教諭研修会（健康診断票の電子化）	湖西市教育会	
4	7月 栄養士・養教合同研修会（食物アレルギー）	湖西市教育会	※ ² 磐田市教育委員会
5	養護教諭研修会※ ² （健康診断票の電子化）	湖西市教育会	学校教育課 鈴木淳子氏
6・7	8月，11月 養護教諭研修会（スポーツ振興センター）	湖西市教育会	磐田市立豊岡中学校
8	12月 保健主事・養教合同研修会※ ³ 講演会「特別な配慮を要する子どもへの支援」	湖西市教育会・学校 保健会共催	養護教諭 古田伸子氏
9	1月 学校保健研修会（情報交換）	湖西市学校保健会	※ ³ 常葉大学教育学部 教授 太田正義氏

2 昨年度の研修の紹介

常葉大学太田正義氏から「不登校や発達障害をもつ子どもたちへの関わり方」のテーマで講演をしていただいた。アセスメントをもとに個々に応じた配慮をすることが重要であることを学んだ。

3 地区での問題点，課題

健康診断票の電子化や食物アレルギー対応について研修の充実を図り，効率的な執務を目指したい。また，個別指導が必要な児童生徒へ養護教諭としてどのように支援するか引き続き研修を深めていきたい。

浜 松 地 区

1 研修会 年間11回実施

- 【テーマ】 (1) すこやかな心と体 大切な命
 (2) 養護教諭の資質向上を目指して

No.	研 修 内 容	主 催 者	備 考 (講師・運営)
1	4月 教育研究協議会	浜松市教育研究会	
2	5月 第1回ブロック別研修会(養護教諭部)	浜松市教育研究会	
3	5月 第1回研修会(保健主事養護教諭合同)	浜松市教育研究会	
4	7月 養護教諭研修会* ¹ 「学校で起こる事故・判例研究から捉える養護教諭の専門性 -養護診断のプロセスとリーガルマインド-」	浜松市教育委員会	* ¹ 静岡大学教育学部 教授 鎌塚優子氏
5	7月 第2回研修会(保健主事養護教諭合同)	浜松市教育研究会	
6	8月 第2回ブロック別研修会(養護教諭部)	浜松市教育研究会	
7	8月 養護教諭部研修会(講演と分科会別研修)* ² 「成長障害へのアプローチ」	浜松市学校保健会	* ² 浜松医療センター 小児科 佐野伸一郎氏 他
8	10月 養護教諭研修会* ³ 「叱るとよけいにこじれる子を落ち着いて観察し支援する -愛着とトラウマの視点から-」	浜松市教育委員会	* ³ 県立吉原林間学園 治療指導課長 市原真記氏
9	11月 第3回ブロック別研修会(養護教諭部)	浜松市教育研究会	
10	11月 第3回研修会(保健主事養護教諭合同)	浜松市教育委員会	
11	3月 養護教諭研修会	浜松市教育委員会	

2 昨年度の研修の紹介

養護教諭部研修会では、浜松医療センター救急科長の加藤俊哉氏を講師に迎え、「養護教諭が行う救急処置」をテーマに講話をしていただいた。応急処置の目的や原則、救急車を呼ぶ判断基準となるA B C D E Fについて、具体的な対応と養護教諭の役割について学んだ。

3 地区での問題点・課題

浜松市教育研究会養護教諭部及び浜松市養護教諭研究会として、研修の充実や若手育成、組織の在り方等の課題があるため、組織会則検討委員会や研究推進委員会を立ち上げ、検討している。特に専門性を持つ教育者としての資質能力を高めるための研修を充実させていきたい。

